

2023 年 8 月 25 日

欧州 PFAS 制限に対する見解書

日本バルブ工業会（JVMA）

日本バルブ工業会（JVMA）は、PFAS 制限提案に対するコメントを提供する機会を与えられたことに感謝します。

1. はじめに

日本バルブ工業会は 1954 年に設立され、70 年近くにわたり日本のバルブ業界を代表する団体です。現在、欧州のバルブメーカーの日本法人を含む 115 社の国内主要バルブメーカーと 68 社の関連会社で構成されています。

設立以来、社会貢献のために様々な効果的なプログラムを実施し、時には中央省庁との協力も行ってきました。特に環境問題の解決には最大限の努力を傾けており、環境委員会と 4 つのワーキンググループで以下の課題に取り組んでいます。

- 温室効果ガスの削減
- バルブの環境設計
- バルブのライフサイクルアセスメント
- 規制物質の情報収集
- 環境教育

PFAS 規制案に対応するため、技術的及び社会経済的な意見書を作成しました。

2. コメント

FKM や FFKM によって提供される物質機能として難解性があります。

下記のカテゴリーのバルブにおいて難分解性が求められます。

- ・半導体、エレクトロニクスカテゴリーの電子材料系プロセス液移送に用いられるバルブのライニング
- ・医薬製造カテゴリーの中間体、原薬製造設備に用いられるバルブのライニング
- ・医薬製造カテゴリーのマルチプラントの各種プロセス液移送に用いられるバルブのライニング
- ・医薬製造カテゴリーの殺菌、排水プロセス用流体移送に用いられるバルブのライニング
- ・化学産業カテゴリーの各種酸性/アルカリ性プロセス液のラインに用いられるバルブのライニング
- ・化学産業カテゴリーの腐食性流体の移送、貯蔵に用いられるバルブのライニング

- ・化学産業カテゴリーの電解処理設備の薬液ラインに用いられるバルブのライニング
- ・化学産業カテゴリーの化学品薬液充填ラインに用いられるバルブのライニング
- ・海水淡水化設備カテゴリーの前処理工程向け薬注設備に用いられるバルブのライニング
- ・産業用水カテゴリーの純水装置、排水処理装置の薬液ラインに用いられるバルブのライニング
- ・上下水処理カテゴリーの中和装置、ろ過設備の薬液ラインに用いられるバルブのライニング
- ・食品製造カテゴリーの添加物、中和、糖化プロセスの薬液ラインに用いられるバルブのライニング
- ・食品製造カテゴリーの殺菌、排水プロセス用流体移送に用いられるバルブのライニング
- ・製鉄産業カテゴリーの製鉄用工業用水、排水処理設備の薬液ラインに用いられるバルブのライニング
- ・製鉄産業カテゴリーのメッキ液、酸洗ラインに用いられるバルブのライニング
- ・発電用水処理カテゴリーの中和装置、排水処理装置、電解処理装置の薬液ラインに用いられるバルブのライニング

FKM や FFKM と同等以上の難分解性を有するエラストマーは存在していません。
特にビスフィノール AF を架橋に用いた FKM や FFKM は高い難分解性を有します。

私たちは代替手段を開発できるかもしれませんが、短期間ですべての準備をすることはできません。

We may be able to develop alternatives, but we cannot prepare everything in a short period of time.

その理由により私たちはバルブに対して“until 13.5years after EiF” conditions of restriction を求めます。

For that reason, we require valves to comply with the conditions of restriction “until 13.5 years after EiF”.

SEAC の意見でこのコメントに記載された用途と conditions of restriction が明確にされることが望ましいです。

It is desirable that the conditions of restriction corresponding to the multiple Uses described in this comment be clarified in the opinion of SEAC.

以上